

都留市地名考 その十

窟田 薫

カイト
カイトの地名は、関西・関東に多く、甲斐の国では都留郡に庄倒的に多い。

カイトには、垣内・垣外・海戸・開戸・海道の他、数多くの宛字があり、初見は元暦七年（九五三）伊勢国近長寺資財帳の「阿支呂垣内辰巳新田壱反余歩」だといわれている。

『大日本民族事典』にカイト（垣内）の意を類別して、

(一) 屋敷の一部分
(二) 一区画の屋敷地
(三) 同属集団
(四) 地域結合
(五) 集落の共有山林
(六) 区画された耕地・原野
(七) 屋号

などとしている。

『群馬県の歴史』によると、中世の領主岩松氏（小山田富春の時代）は、垣根で囲った屋敷地に居住する在宅（屋敷とそこに居住す

(三) 樹木名を冠するもの
(四) 人名を冠するもの
(五) 特殊職業名を冠するもの
(六) 社寺関係を示すもの
(七) その他

である。

カイトの名称は、時代の変遷に

したがって、その使用範囲が拡大複雑化し、その解説が明確に把握できない感がある。

カイト（カイト）であったことが知られる。

る農民を一括した古称）すなわち（名主）に命じて年貢先を区分して納めさせた。当時領主、莊官の

政治上の末端組織とも考えられる。に注目すると、それが、今回初冬の植物観察会で最も注目される。また、カイトに冠せられる名称

は春・夏・秋と開催してきました

が、今回の初冬の植物観察会で最終となりました。

都留文科大学森江晃三教授を講師にお迎えしての野外植物観察会で最

終となりました。

は春・夏・秋と開催してきました

が、今回の初冬の植物観察会で最

終となりました。

は春・夏・秋と開催してきました

が、今回の初冬の植物観察会で最

終となりました。

は春・夏・秋と開催してきました

が、今回の初冬の植物観察会で最

終となりました。

第四回

野外植物観察会

都留文科大学森江晃三教授を講師にお迎えしての野外植物観察会

が、今回の初冬の植物観察会で最終となりました。

は春・夏・秋と開催してきました

が、今回の初冬の植物観察会で最

終となりました。

は春・夏・秋と開催してきました

が、今回の初冬の植物観察会で最

終となりました。

は春・夏・秋と開催してきました

が、今回の初冬の植物観察会で最

終となりました。

は春・夏・秋と開催してきました

が、今回の初冬の植物観察会で最

終となりました。

いつしうけんめいに生きています。姿を観察してみたいと思います。運がよければ、シモバシラ（植物名）に付いたシモバシラ（水晶）が見られるかも知れません。

開地	三吉			盛里	宝			東桂	地区	集落名	小字名
中小野	上戸沢	下戸沢	法能川	玉川	朝日曾雌	上大幡	下大幡	中津森	夏狩	十日市場	宅地
西海戸	日向海戸	日向海戸	田代海戸	西海戸			南海	北海	久保海戸	左海	西海戸
同	同	同	海戸		日向海戸	同	同	同	同	同	田
上	上	上	戸			上	上	上	上	上	畠
同	同				峰海戸	日陰海戸	北海戸	海戸	同	同	山林
上	上					上	上	上	上	上	
					原海戸	日向開戸	上				
12月1日	25日	天神講	都留市農協	高尾山例祭	高尾町	文化祭	文化会館他	桂川祭	都留文科大学	農業まつり	



十一月



1～3日 文化祭 文化会館他
1～4日 桂川祭 都留文科大学
3日 農業まつり
12月1日 高尾山例祭 高尾町
25日 天神講 市内各地
都留市農協
高尾山例祭 高尾町

高川山登山会

尾張郷土資料館集合

午後3時解散予定

（雨天の場合15日に延期）

持参するもの
昼食・水筒・雨具
保険代100円

定員 30名

申込・問合先

締切日 11月5日(木)

申込・問合先

尾張郷土資料館

☎(45)0675

（火・木・土・日・祝日
午前10時～午後4時）

日時 11月8日(日)
午前8時30分

社会教育課
市教委員会